年頭のご挨拶

国民健康保険中央会
会長　鈴　木　俊　一

新年あけましておめでとうございます。

平成二十年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

我が国は、国民皆保険のもと、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度の構築と、質の高い保健医療水準の達成により、世界最長の平均寿命を実現してまいりましたが、ご承知のとおり、極めて急速な少子高齢化の進展や経済の低成長化などに対応して、将来にわたり国民が安心して暮らせる活力のある長寿社会を築くためには、安定的で持続可能な社会保障制度の構造改革が求められております。

このため、一昨年、医療保険制度の抜本的な改革が行われ、現在、段階的に施行されているところでありますが、本年四月には、この改革の最大の柱である特定健診・特定保健指導や、七十五歳以上の方々を対象とした後期高齢者医療制度などがスタートし、いよいよ本格的な施行を迎えることとなります。

こうした改革は、国民皆保険を維持する上で必要なものでありますが、これらを進めていくためには、特定健診・特定保健指導の実施のための保健師の十分な人材確保や、住民の皆様に対する新たな制度の適切な広報活動を含めた諸準備が確実に推進される必要があります。

新しい年を迎え本会といたしましては、国民すべてが安心して医療を受けられる国民皆保険を堅持するため、かねてより念願である医療保険制度の一本化に向けた努力を粘り強く進めていくとともに、諸改革の円滑な実施に向け、都道府県国保連合会や全国市長会、全国町村会などの関係団体とともに、これまで以上に最善の努力を続けて行く所存であります。

皆様方におかれましては、国保制度及び介護保険制度等の充実・強化に一層のご尽力を賜りますよう重ねてお願いするとともに、新しい年が明るく、実り多き一年になることを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成二十年元旦